

**長時間ランプを採用した LCD パネル搭載プロジェクター 3 機種を発売
3,500lm クラスのラインアップ拡充により幅広いニーズに対応**

キヤノンは、「パワープロジェクター」シリーズの新製品として、新設計の長時間ランプ^{※1}を採用した LCD (Liquid Crystal Display=液晶) パネル搭載のプロジェクター “LV-WU360” など 3 機種を、2019 年 8 月 8 日より発売します。



LV-WU360

新製品 3 機種は、いずれも長時間ランプを採用した LCD パネル搭載のプロジェクターです。小型・軽量設計ながら 3,500lm クラスの明るさを実現しており、“LV-WU360”は WUXGA (1,920×1,200 画素) の解像度で明るさが 3,600lm、“LV-WX370”は WXGA (1,280×800 画素) で 3,700lm、“LV-X350”は XGA (1,024×768 画素) で 3,500lm の映像投写ができます。

キヤノンは、企業の会議室や学校の教室、店舗のデジタルサイネージなどで需要が高まる 3,500lm クラスのプロジェクター製品のラインアップを拡充し、幅広いニーズに対応していきます。

■ 長時間ランプの採用によりメンテナンスコストを削減

ランプの駆動方式を改善した新設計の「長時間ランプ」を採用することで、ノーマルモードで約 1 万時間、エコモードで最長約 2 万時間の長期間運用を実現しました。ランプの購入や交換の頻度が減り手間が軽減されるため、メンテナンスコストを削減することができます。

■ 明るく鮮やかな映像投写を実現する LCD パネルの採用

赤 (R)・緑 (G)・青 (B) の 3 枚の LCD パネルにマイクロレンズ^{※2}を追加することで光の利用効率を高め、明るさを向上した 3 原色液晶シャッター投写方式^{※3}の光学システムを採用しています。キヤノンの色再現技術を活かしつつ、投写光のカラーバランスを向上させることにより、明るく色鮮やかな映像を投写することができます。

■ 携行性に優れた小型・軽量設計と多彩な基本機能

質量約 3.2kg^{※4}、大きさ約 345 (幅) × 99 (高さ) × 261 (奥行き) mm の小型・軽量設計を実現しています。投写映像の縦方向のひずみを自動的に補正する「オートキーストーン」を搭載しており、小型・軽量設計を生かして、用途に応じて気軽に持ち運び、柔軟に運用することができます。

製品名	希望小売価格	発売日
LV-WU360	オープン価格	2019 年 8 月 8 日
LV-WX370		
LV-X350		

※1 ランプの使用時間は、目安であり使用環境・状況により異なる場合があります。3,000lm クラスの DLP[®]方式「LV-X300」(2014 年 9 月発売)の光源ランプの交換目安である約 5,000 時間と比較し、約 2 倍の長時間ランプを搭載。DLP は、Digital Light Processing の略。デジタルミラーデバイスを用いた映像表示システム。

※2 LV-X350 は非搭載。

※3 光の三原色である赤 (R)・緑 (G)・青 (B) の 3 枚の液晶パネルでそれぞれ映像を再現してから、再び合成する表示方式。

※4 LV-WU360 は約 3.3kg。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

050-555-90071

● プロジェクターホームページ : canon.jp/projector

<主な特長>

1. 長時間ランプの採用によりメンテナンスコストを削減

- ・ランプの駆動方式を改善した新設計の「長時間ランプ」を採用することで、ノーマルモードで約1万時間、エコモードで最長約2万時間の長期間運用を実現。ランプの購入や交換の頻度が減り手間が軽減されるため、メンテナンスコストの削減が可能。



メンテナンスコスト削減を実現した長時間ランプ

2. 明るく鮮やかな映像投写を実現する LCD パネルの採用

- ・赤 (R)・緑 (G)・青 (B) の 3 枚の LCD パネルにマイクロレンズを追加することで光の利用効率を高め、明るさを向上した光学システムを採用。キヤノンの色再現技術を活かしつつ、投写光のカラーバランスを向上させた 3 原色液晶シャッター投写方式により、明るく鮮やかな映像を投写可能。

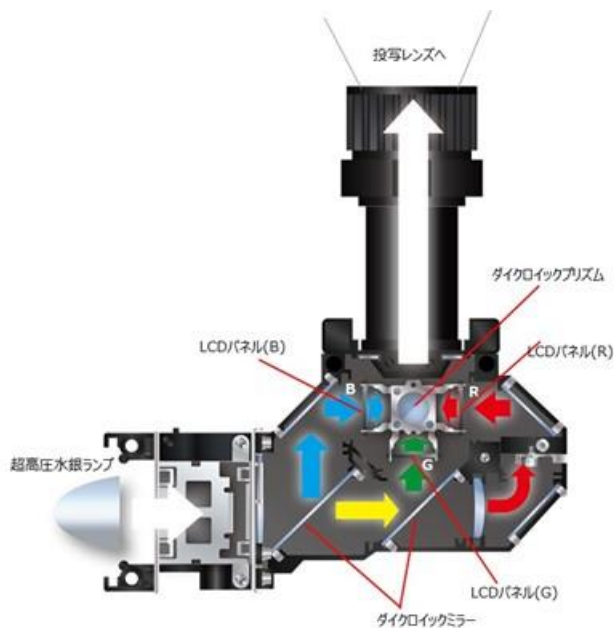


3原色液晶シャッター投写方式 LV-X350



DLP 方式 LV-X300 (2014 年 9 月発売)

3原色液晶シャッター投写方式と DLP 方式の色彩比較



3原色液晶シャッター投写方式の光源システムイメージ図

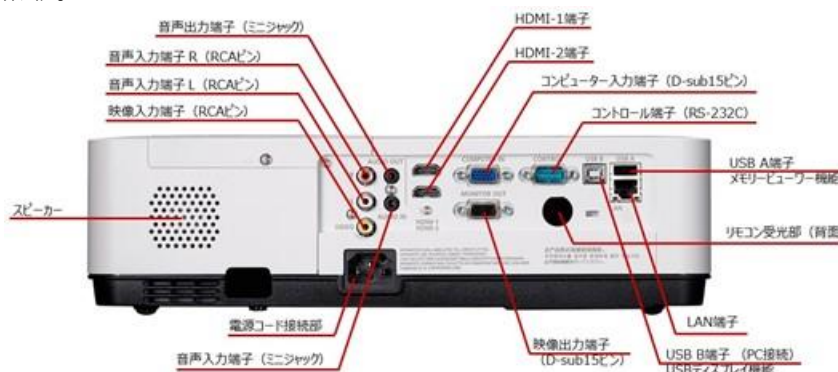
3. 携行性に優れた小型・軽量設計と多彩な基本機能

- ・質量は、“LV-WX370/LV-X350”は約 3.2kg、LV-WU360 は約 3.3kg、大きさ約 345（幅）×99（高さ）×261（奥行き）mm の小型・軽量設計を実現。小型・軽量設計を生かして、用途に応じて気軽に持ち運び、柔軟な運用が可能。
- ・投写映像の縦方向のひずみを自動的に補正する「オートキーストーン」搭載により、センサーで傾きを検知し、投写映像の水平方向のひずみを自動的に補正。



オートキーストーン補正機能イメージ

- ・「H（左右方向）／V（上下方向）キーストーン補正」で投写映像を水平、垂直の両方向で補正可能。
- ・四隅を個別に調整することができる「4点キーストーン補正」搭載。
- ・教育機関の教室に多い黒板など、カーブのある投写面^{*1}のひずみを見やすく調整する「湾曲補正」を搭載^{*2}。
- ・高品質なデジタル映像信号・音声信号を1本のケーブルで伝送可能なHDMI端子を2つ搭載。さらに入力された音声信号を10W内蔵スピーカーから直接出力できるほか、LAN端子など豊富なインターフェースを搭載。
- ・USBメモリーをプロジェクターに挿入するだけで、USBメモリーに保存された映像や画像の投写が可能な「メモリービューワー機能」^{*3}を搭載。
- ・HDMIなどの映像出力端子がないコンピューターからでも、USBケーブルを使っての投写が可能な「USBディスプレイ機能」^{*3}を搭載。
- ・コンピューターの画面をネットワーク経由で投写可能な便利な「ネットワークディスプレイ機能」を搭載。



入力端子面

※1 全てのカーブした投写面の湾曲補正を保証するものではありません。

※2 LV-WU360 は非搭載。

※3 全ての USB メモリーおよび USB ケーブルでの動作を保証するものではありません。

<プロジェクターの市場動向>

2018年のビジネスプロジェクターの市場規模は、世界市場で約630万台、国内市場で約22万台でした。この中における明るさ3,500~3,999lmのカテゴリは約54,000台であり、対前年約143%と大きく伸長しています。3,000lmクラスの利用の多い学校の教室や企業の会議室などを中心に、さらなる明るさと使いやすさをコンパクトな筐体^{きょうたい}で求められており、今後も着実な市場拡大が見込まれています。(キヤノン調べ)

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- * DLP®は、テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- * HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- * その他記載されている商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。